

(記載例1-離婚紛争)

示 談 あ つ せ ん 申 立 書

福島県弁護士会示談あっせんセンター 御中

申立年月日

平成 20 年 1 月 21 日

申 立 人	住 所	〒960-8115 福島県福島市山下町4番24号
	氏 名	山田 花子 印 (会社の場合 会社名・代表者名) TEL 024-534-2334 FAX - -
相 手 方	《代理人》 住 所	〒.....
	氏 名	上記申立代理人 印 TEL - - FAX - -
相 手 方	住 所	〒963-8877 福島県郡山市堂前25番23号
	氏 名	山田 二郎 印 (会社の場合 会社名・代表者名) TEL 024-936-4515 FAX - -
相 手 方	《代理人》 住 所	〒.....
	氏 名	上記相手方代理人 TEL - - FAX - -

- ・ 当該事件について、弁護士に法律相談をしたことがありますか？（弁護士が代理人とならない場合、ご記入ください。）

有 福島 三郎 弁護士
 無

- ・ 当該事件について、裁判所の調停を利用したことがありますか？

利用した 平成.....年(.....).....号事件
 利用していない

一、申立ての趣旨……あなたの求める結論をお書きください。

- 相手方は、申立人に対し、金 円と法律が定める利息を支払ってください。
- 相手方は、申立人に対し、相当額の金銭と法律が定める利息を支払ってください。

■ その他

- 1 相手方は、申立人と協議離婚して下さい。.....
- 2 二人の間の子・春男の親権者を、申立人と定めて下さい。.....
- 3 相手方は、申立人に対し、春男の養育費として、1か月金5万円を支払って下さい。.....
- 4 相手方は、申立人に対し、慰謝料として金300万円を支払って下さい。.....
- という結論の 示談あつせんを求めます。

二、申立ての理由……事件の内容をご説明ください。

1 結婚と出産

申立人と相手方は、平成11年3月15日に結婚し、平成14年7月12日に春男が生まれました。相手方は、自動車販売会社に勤め、申立人は、春男の出産をきっかけに仕事をやめ、今は家事と子育てをしています。

2 相手方の不倫

相手方は、平成16年頃から、会社の同僚の女性と交際を始め、平成18年9月頃から自宅を出て女性のアパートで暮らしています。

3 親権・養育費・慰謝料

申立人は、今の生活にこれ以上耐えられませんので、相手方に対して離婚を求めます。

春男は5歳ですので、母親である申立人が育てます。申立人は働きに出るつもりですが十分な収入が見込めませんので、春男の養育費として1か月3万円が必要です。

このようなことになった責任はもっぱら相手方にありますので、慰謝料として300万円を請求します。

添付資料

- 証拠書類（相手方の数+2通） 各 通
- 資格証明書
- 委任状
-